

第5回 佐久市文化振興推進企画委員会 次第

日時：令和4年5月27日（金）

16：00～

場所：佐久市役所議会棟 第4委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和4年度 芸術文化活動事業補助金について【資料1】

(2) ア 令和4年度 文化振興事業計画について【資料2-1、パンフレット】

イ 令和5年度 文化振興事業計画について【資料2-2】

4 閉会

次回の日程について

期日：令和4年10月中旬（予定）／場所：未定

**令和4年度 佐久市芸術文化活動事業補助金
応募要項に補助対象経費一覧（案）を追加する案**

1、現状

応募要項で定められているプランAの補助対象経費

年度	～令和3年度	令和4年度～
補助 対象 経 費	1、会場使用料	1、会場使用料
	2、舞台設備等の借り上げ料	2、舞台設備等の借り上げ料
	3、演奏者等への謝礼	3、演奏者等への謝礼
	4、印刷製本費	4、印刷製本費
		5、演奏者等への交通費及び宿泊費
		6、広告宣伝費
		7、市教育委員会が事業実施に必要と認め たもの

- ・令和4年度より交付要綱、及び応募要項を改定したことでプランAの補助対象経費の範囲が広がった。
- ・これまでの「どの事業を行う場合でも必要となる経費のみ補助する」という考え方から、「各事業に必要な経費を補助する」という考え方に変更
- ・プランBと同様の補助対象経費となっており、これまでの同様の事業規模でも、上限の10万円に届きやすくなった。

2、「一覧表」をつけることによる効果

- ・補助対象経費、及び補助対象外経費について具体的な項目がないため、申請者にとって不便であることから、「一覧表」を添付することで申請時の判断材料となる

3、補助対象経費一覧表（案）

No.	項目	細目	内訳
1	会場 使用料	会場使用 料	会場使用料及び会場附属設備使用料 ※本番とリハーサル・ゲネプロ（1回）又は本番と前日準備に限る。 ※申請団体（共催者含む）の構成団体及び構成員が設置し又は管理する会 場施設で活動する場合の会場使用料は対象外とする。
2	舞台設 備等の 借上料	設営費	会場設営費、会場撤去費 ※搬入（仕込み）から搬出（ばらし）までの期間で必要な範囲に限る。
		舞台費	照明費、音響費、大道具費、衣装借上料、舞台美術費、字幕・映像費 ※搬入（仕込み）から搬出（ばらし）までの期間で必要な範囲に限る。
		運搬費	作品運搬費、道具運搬費、楽器運搬費 ※搬入（仕込み）から搬出（ばらし）までの期間で必要な範囲に限る。 ※マイクロバスやトラック等のレンタカー代は補助対象とするが、個人 所有の車を利用した場合は対象外とする。
		機材借料	無観客公演を実施する事業のうち、借用した機材で撮影、編集、配信作 業を行い、不特定多数に公開した場合の機材借料
3	演奏者 等への 謝礼	出演費	指揮料、演奏料、ソリスト料、合唱料、俳優・舞踏家・司会者等出演料
		音楽費	作曲料、編曲料、作詞料、楽譜製作料、調律料、伴奏料
		文芸費	演出料、監修・振付料、舞台監督料、衣装等デザイン料、照明・音響ス タッフ料、著作権使用料
		謝金	編集者金、原稿執筆謝金、会場整理謝金、審査員謝金
		委託金	無観客公演等を実施する事業のうち、撮影、編集、配信作業を制作会社 等に委託し、不特定多数に公開した場合の委託料
4	演奏者 等への 交通費 宿泊費	交通費は、本番前後1往復分、宿泊費は、本番の前日又は当日のいずれ か1泊分 ※交通費の特別料金（グリーン車料金・ファーストクラス料金等）は 対象外)	
5	印刷 製本費	印刷費	プログラム、図録、チラシ、ポスター、入場券、ダイレクトメッセージ 等の印刷製本費 ※申請団体（共催者含む）の構成団体及び構成員が所有する機材による 印刷の場合は対象外 ※有料で販売する場合は対象外
6	広告 宣伝費	宣伝費	新聞・雑誌等掲載料、テレビ・ラジオ広告料、ウェブページ制作費、立 て看板等製作費、広告デザイン・編集費、入場券等販売手数料
		通信費	開催案内に係る送付料、 ※送付先を確認する場合あり

＜補助対象外経費＞

- (1) 事務所の維持費、助成対象事業の広報・実施の用途以外のホームページの作成運営費等、団体の経常的な運営に関わる経費
- (2) 領収書がないなど支出の根拠が確認できない経費や、事業実施に直接関わらない経費、社会通念上公費で賄うこと適切ではない経費
- (3) コンクール・大会等の入賞賞金及び賞品、手土産代・花束代の物品による謝礼費用、及びゲスト等との懇親会費やケータリング等の飲食費等、団体の財源により賄うべきと考えられる経費

4、今後の運用について

- ・補助対象経費の一覧については応募要項に付け加え、プランA・プランBに適用する
- ・令和4年度芸術文化活動事業補助金の申請者の内、補助限度額の10万円を下回って交付決定が出ているものについては、4月1日までその効果が遡及することとする。

佐久市文化振興基金活用 事業開催実績及び令和4年度開催計画について

ジャンル		2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)
音楽	国内	ポピュラー		●コンサート&ドラマ 入場者数 204人 ●オーケストラで聴く ジブリ音楽 入場者数 764人	●ともしび音楽企画 入場者数 227人			●Les Frères コンサート(市) 10.19 ⇒ 会場被災のため中止		●Les Frères コンサート(市) 【2021.10.3】 ⇒ 新型コロナのため中止	
		クラシック			●読響コンサート(市) 入場者数 723人		●OMF(オザワセイジ) スクリーンコンサート(市) 入場者数 150人	●スタインウェイ ピアノ記念コンサート(市) 6.20開催 431人			
		ポップス	●南こうせつ with ウー・ファン 入場者数 760人								
	海外	ポピュラー				●ザ・グレン・ミラー オーケストラ 入場者数 742人					
	クラシック	●ウィーン・クライスラー ・アンサンブル 入場者数 427人	●イ・ムジチ合奏団(市) 入場者数 746人			●ウィーン・サロン・ オーケストラ(市) 入場者数 507人 ●エストニア国立男声合唱団 入場者数 568人				文化事業団 主催 ●ウィーン・サロン・ オーケストラ 【2023.1.月予定】	
演劇		●劇団四季 ファミリーミュージカル 入場者数 769人	●劇団四季 ファミリーミュージカル 入場者数 749人 ●劇団四季 小・中学生芸術鑑賞会 入場者数 2,041人	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 入場者数 754人 ●劇団四季 小学6年芸術鑑賞会(市) 入場者数 920人 ●風間杜夫ひとり芝居 入場者数 381人	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 入場者数 737人 ●劇団四季 小学6年芸術鑑賞会(市) 入場者数 892人	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 入場者数 755人 ●劇団四季 小学6年芸術鑑賞会(市) 入場者数 975人	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 2020.3.21開催予定 ⇒ 会場被災のため中止 ●劇団四季 小学6年芸術鑑賞会(市) 11.11開催予定 ⇒ 会場被災のため中止	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 2021.3 ⇒ 新型コロナのため中止 ●劇団四季 小学6年芸術鑑賞会(市) 2020.11 ⇒ 新型コロナのため中止	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) ⇒ 新型コロナのため中止 ●音楽座 ⇒ 新型コロナのため中止 ●芸術鑑賞会 わらび座(市) 小学1年・2年・小学6年 【2021.10.9~10】 406人 ※参考 劇団四季オンライン鑑賞会(市) 小学6年生対象	●劇団四季 ファミリーミュージカル(市) 【2023.3.17】 ●芸術鑑賞会 わらび座(市) 小学6年 【2022.10.29】 ※参考 劇団四季オンライン鑑賞会(市) 小学6年生対象	
伝統芸能		●柳家さん喬&喬太郎 落語親子会(市) 入場者数 541人	●NHK公開番組 「民謡魂 ふるさとの唄」 入場者数 523人	●年忘れ落語会 春風亭小朝独演会(市) 入場者数 427人	●柳家小三治・三三 落語親子会(市) 入場者数 737人		●松竹大歌舞伎 9.19開催 760人		●古典芸能「粋」 【2021.10.23~24】 410人	●DRUM TAO(タオ)(市) 【2023.3.2】	
ダンス・バレエ					●牧阿佐美バレエ団公演 入場者数 810人(市) (ワークショップ含む)			●バレエガラコンサート(市) 2020.7.18開催予定 ⇒ 会場被災のため延期 ・ワークショップのみ開催 【2022.9.20】 67人			
その他	●NHK公開番組「オンパト+」 入場者数 858人 ●米村でんじろう サイエンスショー 入場者数 766人						●中学生映画鑑賞会(市) 入場者数 1,986人	●中学生映画鑑賞会(市) ⇒ 学校の都合により中止	●中学生映画鑑賞会(市) ⇒ 学校の都合により中止	●NHK公開番組「NHKのど自慢」 【2022.2.20】 ⇒ 新型コロナのため中止	
鑑賞型企画事業	●信州バリエ2013 入場者数 614人 ●大きな輪となれ ジョイントコンサート 入場者数 522人	●大きな輪となれ ジョイントコンサート 入場者数 800人	●大きな輪となれ ジョイントコンサート 入場者数 800人	●キッズ・サーキット 入場者数 4,879人(延) ●大きな輪となれ ジョイントコンサート 入場者数 800人	●キッズ・サーキット 入場者数 5,612人(延) ●大きな輪となれ ジョイントコンサート 入場者数 781人	●キッズ・サーキット 入場者数 5,310人(延)	●キッズ・サーキット 2020.7.31~8.2 8.2~4開催 4,950人	●キッズ・サーキット 2020.7.31~8.2 ⇒ 新型コロナのため中止	●キッズ・サーキット 【2021.8.6~8】 ⇒ 新型コロナのため中止	●キッズ・サーキット 【2022.8.5~7】 ⇒ 新型コロナのため中止	
体験参加型	●アウトリーチ (心が豊かになる音楽への招待) 入場者数 591人	●アウトリーチ (心が豊かになる音楽への招待) 入場者数 726人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 534人	●アウトリーチ (心が豊かになる音楽への招待) 入場者数 669人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 651人	●アウトリーチ (心が豊かになる音楽への招待) 入場者数 901人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 618人	●アウトリーチ (心が豊かになる音楽への招待) 入場者数 2,313人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 763人	●アウトリーチ (心が豊かになるアーツへの招待) 入場者数 2,297人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 923人	●アウトリーチ (心が豊かになるアーツへの招待) 入場者数 2,336人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 638人	●アウトリーチ (心が豊かになるアーツへの招待) 入場者数 1,340人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 276人	●アウトリーチ (心が豊かになるアーツへの招待) 入場者数 963人 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 入場者数 346人	●アウトリーチ (心が豊かになるアーツへの招待) 【随時開催】 ●PAS(ワークショップ・講演会等) 【随時開催】	
支援型		芸術文化活動事業補助金 12件	芸術文化活動事業補助金 12件	芸術文化活動事業補助金 8件	芸術文化活動事業補助金 12件	芸術文化活動事業補助金 17件	芸術文化活動事業補助金 プランA: 14件(1件事業中止) プランB: 1件(不採択)	●芸術文化活動事業補助金 プランA: 0件 プランB: 2件(1件不採択) ●文化ホール使用料助成 31件採択(1件中止)	●芸術文化活動事業補助金 プランA: 5件(2件は中止) プランB: 0件	●芸術文化活動事業補助金 現在受付中 プランA: 7件(R4/5/16時点) プランB: 0件	

令和5年度 文化振興基金活用文化振興事業 計画書（案）

	優先順位①	優先順位②	優先順位③	優先順位④	優先順位⑤
公演名	Les Frères (レ・フレール) コンサート	バレエ・ガラコンサート	松竹大歌舞伎	春風亭一之輔	ザ・ニューズペーパー公演
開催時期	未定	未定	未定	未定	未定
ジャンル	その他（音楽コンサート）	舞踊（バレエ）	伝統芸能（歌舞伎）	落語	鑑賞型（コント）
対象年齢	全年齢	4歳以上	小学生以上 （落ち着いて鑑賞できる年齢）	小学生以上	大人
公演料	400万円	700万円	730万円	250万円	不明
チケット料 金 （予定）	3,000円程度	3,000円程度	4,000円程度	2,500円程度	無料
活動地域	・主に日本で活動しているが、フランス、ベルギー、韓国でメジャーデビューしている	・主に日本国内で活動	・国内（全国）のほか海外公演も行っている	・日本国内で活動	・日本国内で活動
人気 知名度	・TV番組等にも多くの楽曲を提供、ピアノに関心がない方でも気軽に親しめる	・日本国内で有数のバレエ団のトップダンサーによる公演のため知名度は高い	・日本固有の伝統芸能であり、人気と知名度は高い ・佐久市で27年ぶりとなる令和元年度の公演では、市民先行販売初日でチケット完売	・若手では人気 ・SNSフォロワー15,000人	社会風刺コント集団のためかテレビ出演が極めて少ないため、知名度は低いがその分面白く、熱狂的ファンも多い。
経歴	・兄弟によるピアノデュオ。 ・2006年メジャーデビューし、オリコンチャートTOP20に入る、更にゴールドディスクを獲得。	—	・1895年創業 ・歌舞伎の興行について、ほぼ独占的に手掛けている	・同年5月、春風亭一朝に入門 ・2012年3月、真打昇進 ・2015年11月、第32回浅草芸能大賞新人賞受賞（他受賞多数）	結成は1988年。当時『お笑いスター誕生!!』に出演していた3つのグループが合併する形で誕生した。 2013年、落語芸術協会準会員となる。
開催効果	・音楽コンサートではあるが、これまでに無い新しいジャンルの公演であるため、新たな集客（特に10代～20代）が期待できる ・クラシックではないので、気軽に楽しむことができる	・地元のバレエ経験者を対象としたワークショップの開催も予定しているため、講師および生徒の技術力等の向上が見込まれる ・バレエ公演は平成29年度に開催しているが、再演を望む声が多く寄せられている	・伝統芸能の公演が少ないので、観劇の機会を提供できる ・市民より要望の多い伝統芸能開催のニーズに応えることができる（令和元年度公演が好評であったため、再演を望む声あり）	・人気の高い落語の公演のため、大勢の来場が期待できる ・若手の公演を開催し、比較的若い世代の来場を促す	・これまでにコスモホールで開催されていない分野の公演となる
その他	・2019年～2021年まで3年続けて中止となっている。 （台風及び新型コロナ）	・2021年は中止となっている。（新型コロナ）			表現力豊かな役者が演じる様々な人物のコントに、笑いながらニュースの裏に隠された社会の本質が見えてくる。